

入会予定の皆様へ

フナの会 事務局

入会にあたって

お世話になっております。

フナの会の設立経緯・趣旨などは別紙（会長：染谷先生）にてご案内いたします。

その他の事項に関してフナの会の概要をご案内いたします。

フナの会の存在意義

陸運機構と相対するものではなく、陸運機構で出来なかったことを補完するネットワークです。フナの会のメンバーは陸運機構のメンバーと重複する方が大半を占めます。

もちろん陸運機構と今後も掛け持ちで所属していただいで大丈夫です。

では、陸運機構を補完する部分とはどのようなところでしょうか？

① 全国の陸運支局をネットワーク化

陸運機構には会員のいない陸運支局が存在します。フナの会では全ての陸運支局に最低1事務所を確保するための会員拡大運動を継続的に行います。会員の利便性向上のために会が存在していると定義しております。

② 封印の再々委託のネットワーク化

現在、陸運機構の多くのメンバーが、再々委託により封印を送ってもらえるかどうかを名簿を使って確認していると思います。断られる場合も多々あります・・・断られるストレス、送ってくれる相手を探す手間を考えると、早期にネットワークの構築が肝要であると考えます。

『全国の封印が出来ます』と、いち早くセールスポイントとして、他事務所と差別化を図り、フナの会のメンバーの収益拡大に繋がるのが、会の一番の存在意義であると考えます。

沖縄の封印が出来るメリット

私の事務所には先月、沖縄は出来ないの？と3件の問い合わせがありました。

皆様のところにも多くの問い合わせがあるのではないのでしょうか？

一早く沖縄に対応するのが、フナの会です。

③ 代行料に関して

行政書士の代行料は 1000 円というのが慣習として続いてきました。しかし、地方の行政書士や陸運支局から離れている行政書士事務所にとっては 1000 円での代行は負担が大きかったのも事実です。地方会員によってネットワークが維持されるので、会員保護の観点から 1000 円の代行料は見直しとさせていただきます。（もちろん、再々委託などは通常の代行料より高いと認識しております。）

④ 情報の共有について

法改正、国交省・日行連の動向などをいち早く会員にお伝えいたします。O S S 運用の改正に関して、陸運機構の執行部も日行連に呼ばれておりましたが、会員には情報が流れないのが現状です。（執行部を批判する意図はありません。）情報を一早くキャッチし、対応できる環境を整えたいと考えます。また、フナの会の会員の中から日行連に呼ばれる存在を育成、後押しが必要と考えます。それには皆様のご協力と会の発展が不可欠なものと考えます。

⑤ 勉強会について

法改正や、営業方法など。なかなか聞くことが出来ないことを、会の中で勉強し切磋琢磨できる環境を整えたいと考えております。（登録に係る許認可・印鑑ビラ、所有者コード、乙種封印権の取得など）行政書士は孤独になりがちですが、一緒に勉強し一緒に儲ける仲間づくりをしたいと考えます。

⑥ 総会開催場所

総会の開催場所は全国五か所とします。東京へ来る負担を軽減を図ります。再々委託は信頼関係によるところが大きいので、地方ごとの総会には必ず出席してください。誰だかわからない人に封印を送ることは出来ないというのが実情であると考えます。

⑦ 今回、フナの会には陸運機構の空白地帯である管轄のメンバーも加わります。しかし、陸運機構以上のネットワークを構築しているので、改めて陸運機構に入会するメリットは少ないと認識しています。また、陸運機構と対峙する関係でないことは重ねて申し上げます。

※丁種が始まっていない地域、再々委託が始まっていない地域もあります。(代行のため入会の方もいます。) 会員に迷惑がかかる可能性があるので会員の情報は他言無用でお願いします。今回のネットワークは信頼関係によって構築されていることをご理解いただければと存じます。

以上の内容を踏まえて、ご賛同いただける方は年会費をお振込みの上入会申込書をFAXして頂けますでしょうか。

まだまだフナの会に関してわからない部分もあると存じます。
詳細につきましては下記まで、お気軽にご連絡お待ちしております。

会長 染谷行政書士(埼玉会) 090-3090-7499